

聖年の成り立ち

聖年は英語で **Jubilee** と呼ばれますが、その由来は **Jobel** (ヨベル) の年です。レビ記の規定には、畑を 6 年使って 7 年目は休耕とし、その 7 年を 7 回 (7 は聖なる数字) 繰り返した後、「五十年目の年を聖別し、全住民に解放の宣言をする。それが、ヨベルの年である」(レビ記 25:10) とあります。この年には、土地は原則として所有者に返され、負債は免除され、奴隷は解放されるなど、言わば大恩赦の年でした。だからこそ、聖年は何よりも〈解放の年〉なのです。

キリスト教の時代になり、聖地への巡礼と 100 年後との聖なる年という考えが加わり、歴代の教皇たちが聖年の規定を整えていき、1500 年に教皇アレクサンデル 6 世によってローマの四大バジリカの聖年の扉を開く式が始められました。

基本的には二十五年ごとに (通常聖年) 祝われますが、実際には二十世紀の聖年は〈1900 年通常およびイエスの聖心への奉獻〉〈1925 年通常および第 1 ニカイア公会議 1600 年記念〉〈1926 年アッシジの聖フランシスコ帰天 700 年記念〉〈1933 年キリストによる贖いの 1900 年記念〉〈1950 通常〉〈1975 年通常〉〈1983 年キリストによる贖いの 1950 年記念〉〈2000 年第 3 千年期開始の大聖年〉〈2015 年いつくしみの特別聖年〉が祝われました。来年は〈通常聖年〉ですが、早くも 2033 年には〈キリストによる贖いの 2000 年記念〉の特別聖年があるだろうというのがもっぱらのうわさです。

現在の規定では、教皇はサンピエトロ大聖堂の聖なる門を開き、ラテラノ大聖堂、サンタマリアマッジョーレ大聖堂、サンパオロフォリレムーラ聖堂で教皇が指名した代理によって同様の儀式が行われます。聖年の終わりに聖なる門は閉ざされます。2025 年の聖年は、2024 年 12 月 24 日のサンピエトロ大聖堂の聖なる門が開かれて開始され、2026 年 1 月 6 日にこの扉が閉じられて閉幕します。地方教会では、2024 年 12 月 29 日に開幕、2025 年 12 月 28 日に閉幕することとされています。